

平成30年度GEF産学共創パートナーシップ第2回研究会を開催いたしました。



去る8月9日木曜日、平成30年度第2回研究会を、エルイン京都会議室にて行いました。

○平成30年度第2回研究会

①「営農型太陽光発電の農地転用等の取り扱いに関する変更に関して」

講演者: GEF産学共創パートナーシップ事務局

「バイオエコノミー戦略の国内外動向に関して」

講演者: 京都大学大学院エネルギー科学研究科 特任教授 柴田大輔

②「植物診断ロボットを用いた太陽光植物工場の環境制御の高度化」

講演者: 愛媛大学大学院 農学研究科 食料生産学専攻

植物工場システム学コース

教授 高山 弘太郎

③「次世代のフィルム型太陽電池～ユニークな特性と広がる用途～」

講演者: 京都大学 化学研究所 複合基盤化学研究系

分子集合解析領域

(株式会社エネコートテクノロジーズ CSO(最高科学責任者))

教授 若宮 淳志

開会式では、今年の4月より京都大学木津農場の農場長に就任した白岩先生よりご挨拶を頂きました。柴田先生からは、バイオエコノミー戦略における国内外の最新動向についてご説明を頂きました。高山先生と若宮先生のご講演では、注目されている農業の新技术・研究のご紹介ということもあり、会員のみなさまや先生方から多くのご質問やご意見をいただきました。非常に活発な研究会になったと思います。高山先生、若宮先生、その他先生方、会員のみなさま、お忙しいところお越しくださいますとありがとうございました。

